（別紙4（2））

事業所名：　グループホーム恵の里

作成日：　令和　3年　12月　8日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	平成30年4月の指針改正に伴う第三者（外部）評価受審状況を重要事項として家族等に説明できるよう取り組むことが望まれる。	外部評価の結果を、アウトプットしどのような施設なのかを分かりやすく説明をおこなう。	重要事項説明書に外部評価結果を追加し、入居時の説明をおこなう。又、来客の際閲覧できるように玄関に掲示する。	1ヶ月
2	35	有事の際の一時避難場所を明確にすると共に、避難時の受け入れ施設について地域のグループホームと相互に協定を結んでいる。これらの情報を家族にも周知することが望ましい。	災害発生時の動きや、避難方法・避難場所の情報を家族様へ周知する。	運営推進会議や懇談会、入所時に、災害避難時の受け入れ協定を結ぶ、施設が有ることを説明し、災害時対策も加えて再度説明をおこなう。	3ヶ月
3	49	コロナ禍により日常的な外出支援ができていない。	長崎県の感染者状況の情報を収集し、状況に合わせて感染対策を十分におこない外出機会を増やす。閉鎖的空間にならないように気分転換ができる施設作りを目指す。	状況に合わせた外出支援をおこなう。室内行動だけでは利用者様もストレスが溜まりやすい状況になる為、敷地内で工夫し季節などを感じていただく掲示物や装飾をおこなう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。